

英語の学習方法

1 英語の学習について

今日、グローバル化が急速に進む中で、国際共通語である英語力の向上が必要とされます。みなさんは小学校からの英語学習を通して、英語に慣れ親しんでいると思います。中学校では、さらにコミュニケーションの手段として英語を活用できる力が求められます。

また、今年度から新学習指導要領が施行され、単語数も大幅に増加し、高校で学習していた文法も中学校で学ぶようになったものが一部あります。そのために表現の幅も広がり、それらの単語や文法を使って自分表現（自己紹介・趣味・興味をもっていること・将来の夢・自分の考えなど）をできるように学習を積み重ねていかなくてはなりません。話し合いや討論・ディベートなどができるように、ふだんから新聞や本を読んで意見や考えをもったりすることが重要です。

2 予習の仕方

- ① 次のパートの新出語句の意味調べをする。
- ② 本文をノートに1行おきに写してくる。（授業中に説明が書き込めるようあけておく。）



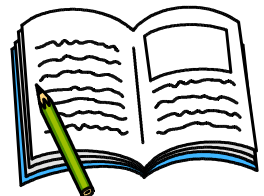
3 授業の受け方

- ① 忘れ物がないようにしよう。
- ② 音読するときは、大きな声で。発音は大事です。
- ③ 先生の説明を集中して聴く。（書きながらでは集中できない。）
- ④ 板書をていねいに素早くノートに写す。色ペンも上手に使う！
「ノートは世界でただ1つの自分専用の参考書である」
- ⑤ ペアワークやグループワーク等を通して、英語で楽しくコミュニケーションを図ろう。
- ⑥ 積極的に挙手して発表しよう。



4 復習の仕方

- ① 授業用ノートの活用
自主勉強ノートに、単語・連語の練習、本文を書く、習った文型を使って英文を作ってみるなど。
- ② 本文の音読
声を出して読む。20回音読しよう。（英語が得意になる近道です。）
- ③ ワークの問題に取り組む。



5 勉強法

【単語・連語】

- ① ひたすら書いて覚えよう。発音しながら書くと覚えやすい。
- ② 自分で単語テストをする。
- ③ 単語カードを作成して、めくりながら覚えるのも効果的。

【基本文】

- ① とにかく教科書の基本文がすべての基礎。語順ルールを覚えよう。
- ② 基本文の定着のために、ワークの文型練習（左のページ）を活用しよう。

【長文読解】

- ① 時間を設定して取り組もう。（速く正確に読み取る練習）
- ② 語句のかたまりごとにスラッシュを付けて区切る習慣をつけよう。
- ③ 分からない単語があっても、全体の流れをつかみ、要点を押さえる。

【総合問題】

- ① 問題集を活用して、応用力をつけよう。
- ② 英作文の練習に取り組もう。（入試に必ず出る）



【聞きとり】

- ① 授業中に先生やCDの英語をよく聞いて英語の音に慣れる。
- ② まとまりのある英文を聞くと、すべての単語が聞き取れなくても、キーワードを聞き取ってメモを取るなど内容をつかめるようにする。
- ③ DVDで外国映画を観る時、日本語吹き替え版ではなく、できるだけ字幕スーパーのものを観たり、英語のTV（ラジオ）番組を積極的に観る（聞く）のも聞く力をつける方法である。

2日 土曜日 1900~2000

今日のテスト直し 高一の英語を2週間（サ）の回

① (a) I am happy to hear that. 「私はそれを聞いてうれしいです」 (b) I'll learn something new there. 「私がそこでは新しいことを学ばせよう」

② 未来の文 ① will を使う場合 「～するつもり」 「～する」の未来のことや意志は、主語 + will + 動原...>で表す。否定文は「～しない」 「～しない」は will のあとに not を入れる。主語 + will not + 動原...> 疑問文は「～するつもりか」 「～する」 will を主語の前に出す。答えの文にも be 動詞を使う。<be 動詞 + 主語 + will...> or <No, 主語 + will not (won't)> 疑問詞で始まる場合は <疑問詞 + will + 主語...?> or 例 ② be going to を使う場合 「～するつもりです」と決定している予定などは主語 + be going to + 動原...>で表す。否定文は be のあとに not を入れる。主語 + be not going to + 動原...> 疑問文は be 動詞を主語の前に出す。答えの文にも be 動詞を使う。<be 動詞 + 主語 + going to + 動原...?> or <Yes, 主語 + be 動詞...> or <No, 主語 + be 動詞 + not.> 疑問詞で始まる場合は <疑問詞 + be 動詞 + 主語 + going to...?> or 例 ③ am interested in ~ 「～に興味がある」 ④ (a) The man living near the park was kind. 「公園の近くに住んでいる人は親切な人だ」 「～している」 と人々の状態などを説明するときは、<人々の + 動詞のing形>で表す。過去形などあることに注意!! ④ (b) It made her happy. 「それは彼女を幸せにした」 ⑤ (a) The what (何) (何) (何) についてある what time (何時) 「何時に」 what day (何曜日、何の日) 「何曜日、何の日」 who (誰) 「誰」 についてある whose (だれの) 「だれ」 を持つ which (どの) (どの) 「どの」 についてある when (いつ) 「何時に」 where (どこ) (どこ) 「どこ」 についてある why (なぜ) 「理由、目的」 how (どう) (どう) 「どう」 how many (いくつ) 「数」 how much (いくつ) 「価格」 how long (どれくらい) 「長さ、期間」 how old (何歳) 「年齢」 how often (何回、どのくらいの頻度) 「頻度」 ⑥ (a) and...> <命令文、and...> ⑦ <命令文、and...> 「～(を)し、そして...」 (b) Came at five, and you can see Bill. 「5時に来ると、ビルに会えます」 ⑧ <命令文、or...> 「～(を)し、さもなければ...」 (c) Came at five, or you can't see Bill. 「5時に来ないと、ビルに会えません」 ⑨ Can...> 「～することができます」 ⑩ Can...> 「～することができます」 ⑪ Can...> 「～することができます」 ⑫ Can...> 「～することができます」 ⑬ Can...> 「～することができます」 ⑭ Can...> 「～することができます」 ⑮ Can...> 「～することができます」 ⑯ Can...> 「～することができます」 ⑰ Can...> 「～することができます」 ⑱ Can...> 「～することができます」 ⑲ Can...> 「～することができます」 ⑳ Can...> 「～することができます」 ㉑ Can...> 「～することができます」 ㉒ Can...> 「～することができます」 ㉓ Can...> 「～することができます」 ㉔ Can...> 「～することができます」 ㉕ Can...> 「～することができます」 ㉖ Can...> 「～することができます」 ㉗ Can...> 「～することができます」 ㉘ Can...> 「～することができます」 ㉙ Can...> 「～することができます」 ㉚ Can...> 「～することができます」 ㉛ Can...> 「～することができます」 ㉜ Can...> 「～することができます」 ㉝ Can...> 「～することができます」 ㉞ Can...> 「～することができます」 ㉟ Can...> 「～することができます」 ㊱ Can...> 「～することができます」 ㊲ Can...> 「～することができます」 ㊳ Can...> 「～することができます」 ㊴ Can...> 「～することができます」 ㊵ Can...> 「～することができます」 ㊶ Can...> 「～することができます」 ㊷ Can...> 「～することができます」 ㊸ Can...> 「～することができます」 ㊹ Can...> 「～することができます」 ㊺ Can...> 「～することができます」 ㊻ Can...> 「～することができます」 ㊼ Can...> 「～することができます」 ㊽ Can...> 「～することができます」 ㊾ Can...> 「～することができます」 ㊿ Can...> 「～することができます」

← 自主勉強ノートの例

単語の練習だけでなく、文の練習もしっかりしよう！

テーマを決めて作文を書くのもよい。

